

顔認証・入退室管理可能 モニター付サーマルカメラ

RD-CI415T



サーマルカメラ説明書 目次

1. はじめに。

同梱物・製品の特長	4
外形寸法、各部名称	5
壁面への取付方法	6

2. 機器操作・機能

初期起動について	7、8
基本操作・ログイン	9、10
ボタン、メニュー画面の見方	11
ユーザー設定	12～16
通信設定	17、18
アクセス設定	19
システム設定	20～22
データ管理	23
ログ管理	24
日付時刻設定	25
データのインポート・エクスポート	26
勤怠管理	27～29
温度測定設定	30
システム情報	31

3. 設置環境・製品仕様

設置環境に関する注意事項	32
製品仕様	33
アフターサービスについて	34

製品の特長

サーモグラフィーカメラは、熱撮影機能を搭載したカメラです。温度測定、スナップショットのキャプチャーを行う事が可能です。内蔵の高感度 IR検出器と高性能センサーが温度変化を検出し、リアルタイムの温度を測定します。また、顔認証・カード認証機能も搭載しています。

本体と付属品



カメラ本体



壁面取付金具



カメラ取付ネジ

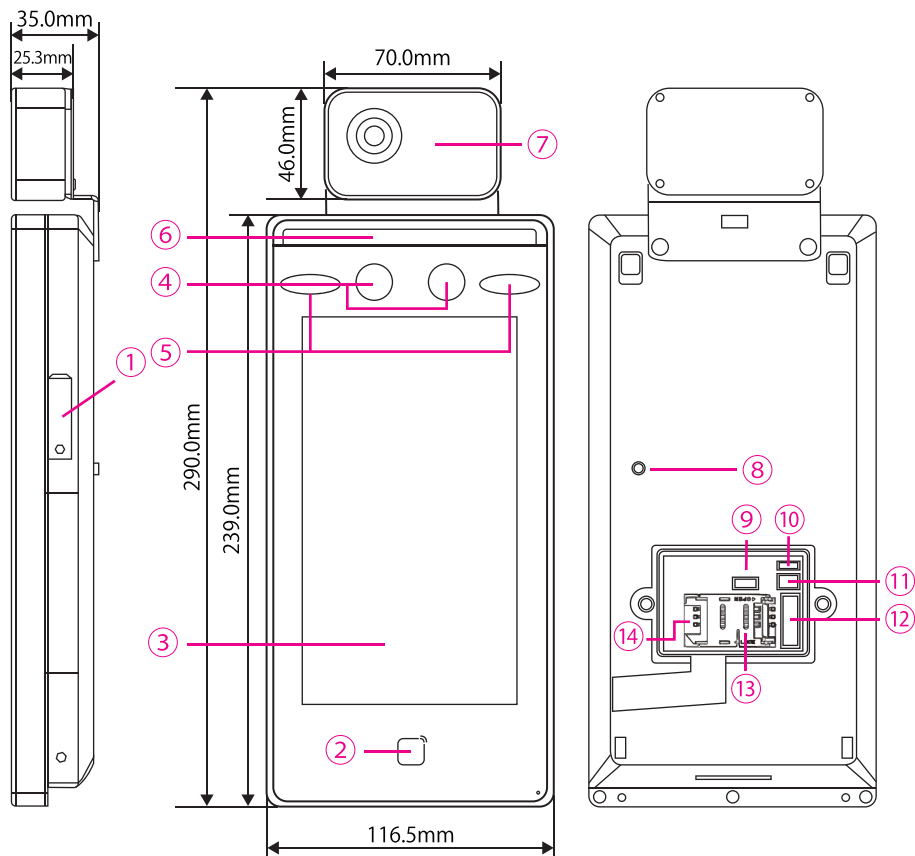


ACアダプター



マニュアル

はじめに

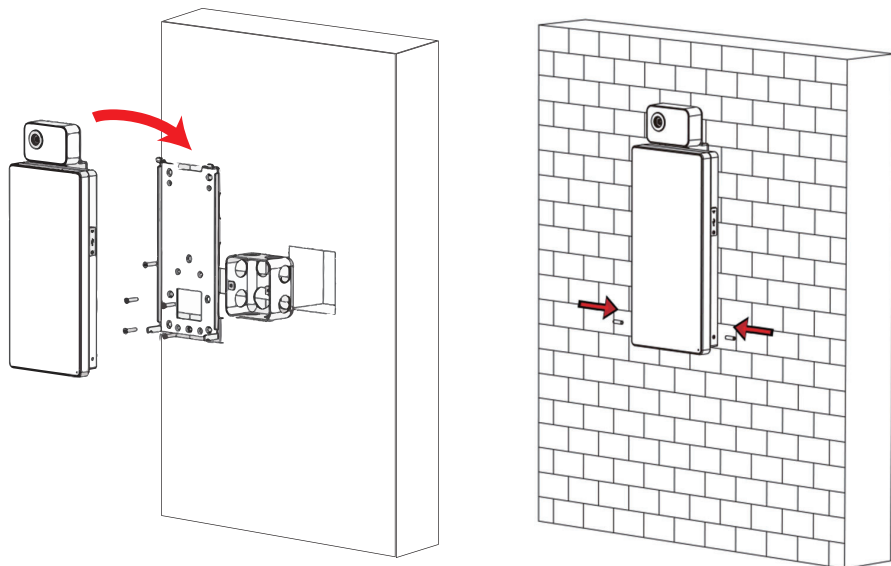


各項目	各項目
①USBインターフェイス	⑧タンバー
② カード読み取り範囲	⑨サーモグラフィモジュールインターフェイス
③タッチスクリーン	⑩デバックポート
④カメラ	⑪電源インターフェイス
⑤IRライト	⑫配線端子
⑥白色ライト	⑬PSAMカードスロット
⑦サーモグラフィモジュール	⑭ネットワークインターフェイス

壁面への設置方法

付属のネジ2本で、本体と取付板を固定します。

ネジの頭部がデバイス表面の下にある場合、デバイスは固定されます。



はじめに

最初のログイン前に機器本体をアクティブ化する必要があります。機器本体の電源を入れると、システムがアクティブ化ページに切り替わります。

機器本体からのアクティブ化、SADPツールを使っでのアクティブ化が可能です。

デバイスの初期値

デフォルト IP アドレス: 192.0.0.64

デフォルトポート番号: 8000

デフォルトユーザー名: admin

機器本体からのアクティブ化

電源を入れた後、右画像の画面になりますのでパスワードを作成し、パスワードを確認します。「アクティブ化」の青いボタンをタップすると、機器本体がアクティブ化されます。

アクティブ化後、アプリケーションモードを選択する必要があります。詳細については、アプリモードの設定 (P14) を参照してください。

また、機器本体をクライアントソフトウェアや、その他のプラットフォームに追加する必要がある場合は、機器本体の IP アドレスを編集する必要があります。

詳細については、通信設定 (P22) を参照してください。

※注意

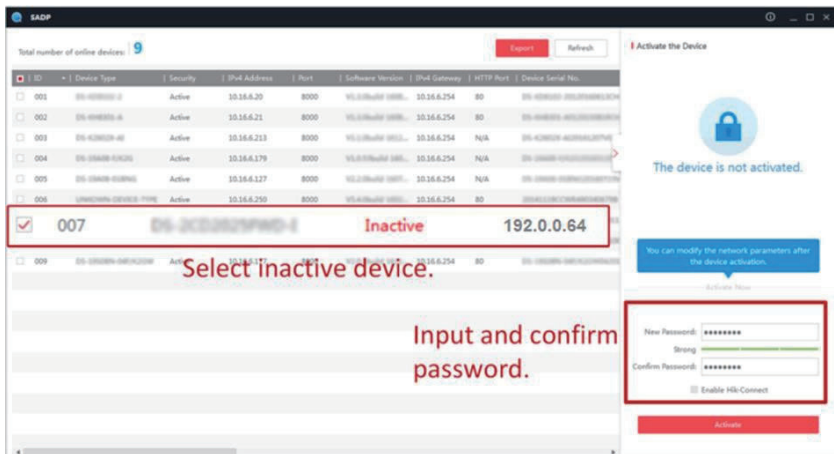
製品のセキュリティを強化するために、パスワード設定は大文字・小文字・数字を含む8文字以上を推奨しています。また、パスワードは定期的に変更することでよりセキュリティを維持できます。

SADPツール経由でのアクティブ化

SADPとは、LAN配線を介して機器本体の IPアドレスを検出し、アクティブ化や設定変更するためのツールです。付属の CDから SADPツールをダウンロードし、指示に従ってインストールする必要があります。また、SADPツールを実行するカメラ本体とパソコンは、同じサブネット内にある必要があります。

- 1.SADPツールを実行し、オンラインデバイスを検索します。
- 2.オンラインデバイスリストで、アクティブ化したいカメラを検索して選択します。
- 3.新しいパスワード (admin password)を入力し、パスワードを確認します。
- 4.アクティブ化をクリックして、アクティブ化を開始します。

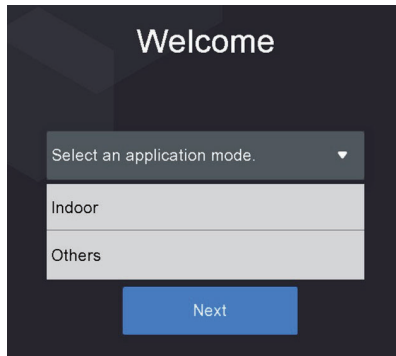
アクティブ化が成功すると、カメラ本体のステータスがアクティブになります。



- 5.カメラ本体のIPアドレスを変更します。
- 1)カメラを選択します。
 - 2)IPアドレスを手動で入力するか、「DHCPを有効にする」をオンにして、カメラのIPアドレスをコンピューターと同じサブネットに変更します。
 - 3)adminパスワードを入力し、modifyをクリックしIPアドレスの変更を有効にします。

はじめに

機器をアクティブ化したら、機器のアプリケーションモードを選択する必要があります。「Welcom(ようこそ)」のページで、メニューが出ますので「Indoor(屋内)」または「Other(その他)」を選択したら、Next(次へ)を押し、設定を保存します。



※システム設定で後から屋内・その他の変更は可能です。

※装置を窓の近くに置いたり、顔認識機能が上手く動作しない場合は「その他」を選択して下さい。また、どちらも選択しないまま、次へを押した場合、屋内設定としてシステム設定されます。

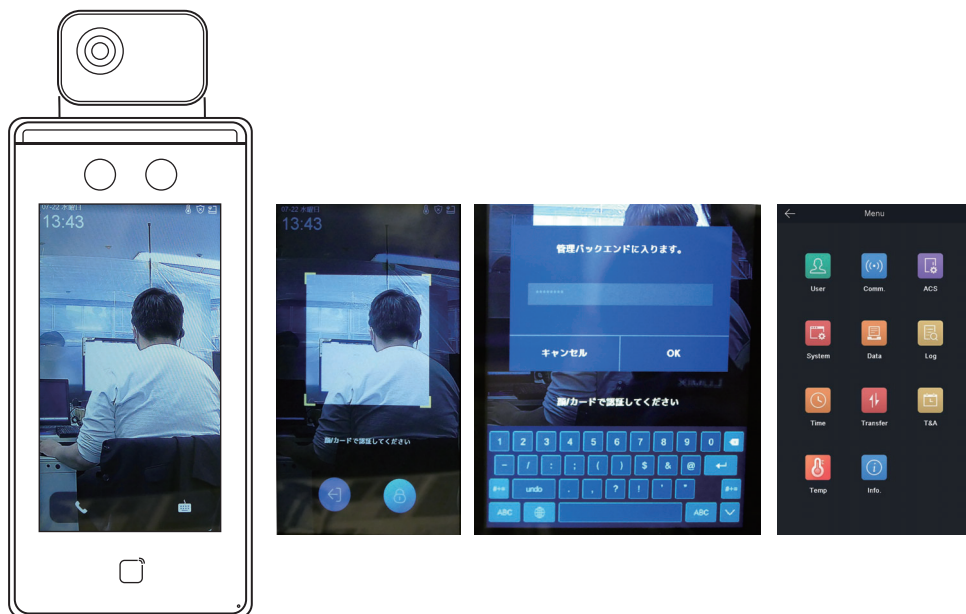
※SADPツールなどからアクティブ化した場合、自動で屋内が選択されます。

はじめに

ログインすることで、機器本体の様々な設定ができます。最初のログイン時は、機器本体のアクティブ化した際のパスワードを入力する必要があります。

管理者の設定を追加している場合は、そちらの情報でもログイン可能です。

ログイン方法

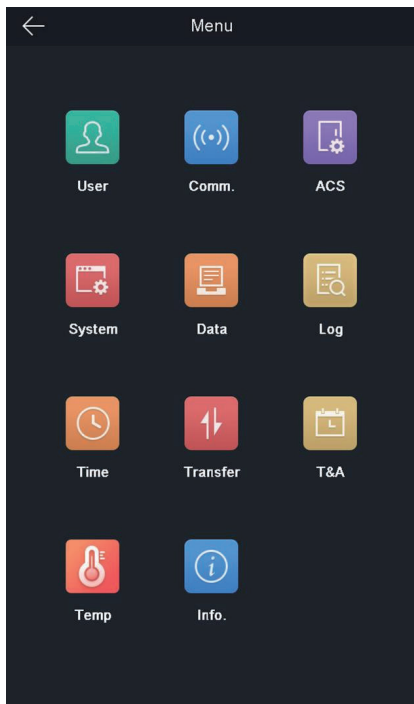


- 1.最初の画面で3秒間押すと、パスワード入力画面が表示されます。
- 2.青いボタンのパスワード部分をタップして、パスワードを入力します。
※2回目以降: 顔認証やカードを登録している場合は、その認証で可能です。
- 3.OKを押すことでメニュー画面が開きます。

※パスワード入力に5回失敗すると、機器は30分間ロックされます。

※顔認証やカード登録については、ユーザー追加 (P17)を参照してください。

画面の見方



アイコン	説明
	ユーザー ユーザーの顔画像や名前・IDの登録ができます。 最大50,000人分登録が可能です。
	通信 ネットワークやRS-485の設定が可能です。
	ACS アクセスコントロール設定ができます。 電気錠との連動設定になります。
	システム 各種カメラや音量などの設定ができます。 マスク通知などもこちらで可能です。
	データ データの初期化やデフォルト設定へ戻すことができます。
	ログ検索 カードや ID、名前で認証などした際のログを見ることができます。
	日付時刻 カメラ本体の日付や時刻を設定が出来ます。
	転送 ユーザーデータや認証した顔の写真のデータを インポート・エクスポートする事ができます。
	勤怠 勤怠管理の設定が出来ます。
	温度設定 アラームを鳴らす温度の設定や、エリアの調整 などができます。
	情報 カメラ本体の容量や情報を確認することができます。



アイコン	説明
	呼び出し 別のカメラ機器や出入口、警備員室と連動させていた場合連絡することができます。
	パスワード パスワードの入力画面が表示されます。
	戻る 画面を3秒押した際に表示されます。 元の画面に戻るボタンです。
	管理パス 画面を3秒押した際に表示されます。管理画面 に入るためのパスワード入力ができます。

はじめに

ユーザー管理インターフェイスでは、ユーザーを追加、編集、削除、検索ができます。



管理者の追加

管理者は、メニュー画面にログインができ、機器本体の設定ができます。

- 1.メニュー画面にログインします。ログインについてはP15を参照してください。
- 2.メニューでユーザーを押し、右上の+ボタンを押すと、ユーザー追加画面になります。
- 3.①～⑦の各種項目を設定します。
- 4.右上のチェックボタンを押すと保存します。



各項目	説明
① ID	従業員 IDを設定します。ID重複は不可で、IDだけはあとから変更もできません。 文字数は32文字まで、小文字・大文字・数字を組み合わせることが可能。
② 名前	ソフトキーボードでユーザ名の入力ができます。 文字数は32文字まで、小文字・大文字・数字を組み合わせることが可能。
③ カード	必要に応じて登録が可能です。 カードの登録について (P19)を参照してください。
④ パスワード	必要に応じて登録が可能です。 パスワードの登録について (P20)を参照してください。
⑤ 顔画像	必要に応じて登録が可能です。 顔画像の登録について (P18)を参照してください。
⑥ モード	管理者の認証タイプを設定します。 認証タイプの設定に関しては、認証モードの設定 (P21)を参照してください。
⑦ 管理者権限	管理者権限の有効可が選択できます。

フェイスピクチャー登録

ユーザーの顔を機器に追加します。顔画像を使用してログイン等ができるようになります。

管理者は、メニュー画面にログインができ、機器本体の設定ができます。

1.ユーザー追加画面 (P17) で、顔画像  を押すとカメラ画面に切り替わります。

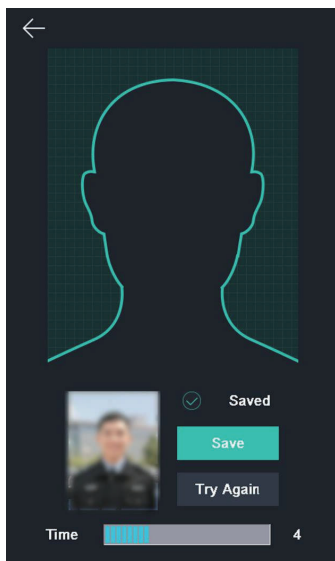
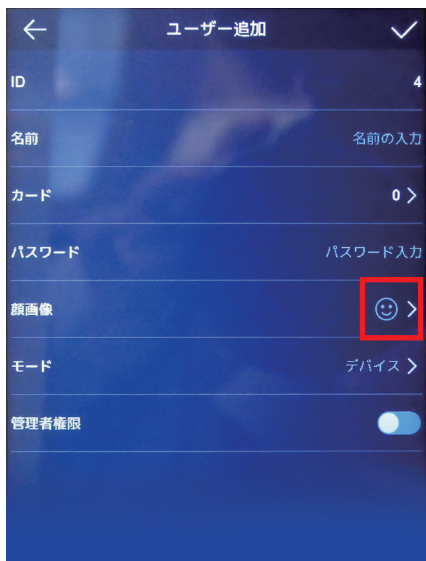
2.カメラを見ながら、画面に表示されている人の枠の中に顔を配置します。

数秒後、確認画面になりますので画像が綺麗かどうか、正確かどうかを確認します。

問題がなければ保存、もう一度撮影する場合はもう一度を押して再度撮影してください。

※数秒以内に押さない場合、自動で保存されます。

※画像追加にかかる時間は最大15秒です。

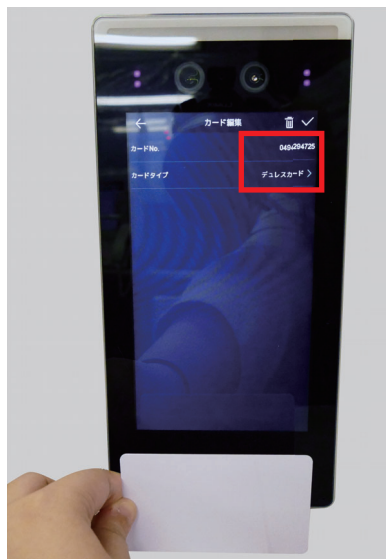
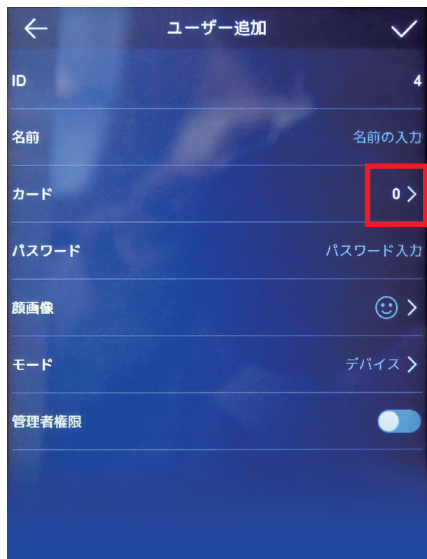


カード登録

ユーザーのカードを追加登録する事で、カードをかざすだけで認証できます。
カードは専用の物が必要(別売)となっています。

管理者は、メニュー画面にログインができ、機器本体の設定ができます。

1.ユーザー追加画面(P17)で、カードの項目をタップします。



2.カード設定画面で、カードタイプをデュレスカードで設定し、登録したいカードをカードスワイプエリアにスワイプすると、カードNo.が入力されます。

※カードは重複して登録はできません。

3.右上のチェックマークを押すと、カード情報を保存し、ユーザー追加画面でも再度チェックマークを押すことで完全に保存して設定を終了します。

※カードでできる事は、バックグラウンド(メニュー画面) へのログインする以外に使用できる機能はありません。

パスワードの追加

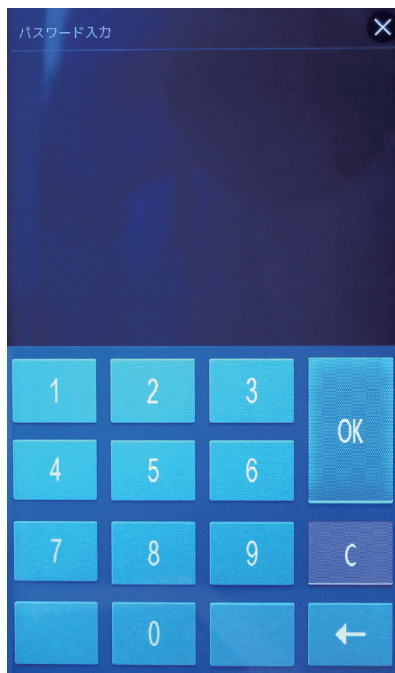
初期登録のパスワードとは別でユーザーのパスワードを追加して認証できます。

管理者は、メニュー画面にログインができ、機器本体の設定ができます。

1.ユーザー追加画面 (P17)で、パスワードの項目をタップします。

2.パスワードを作成し、入力・確認してOKボタンを押します。

※パスワードは数字のみで、8文字まで入力可能です。



ユーザー設定

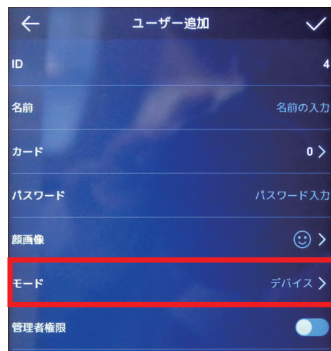
認証モードの設定

ユーザーの顔写真やパスワード、またはその他の情報を追加したら、認証モードを設定する必要があります。ユーザーは、設定された認証モードを使用して自分を機器認証することができます。

1.メニュー画面で「ユーザー」ボタンを押し、IDを選択後、モデルの項目を選択します。

2.認証モードの「デバイス」か「カスタム」を選択します。
認証モードは顔画像・パスワード・カードから選択ができ、AND・ORを選ぶことで、2つ認証が必要ななどの設定も可能です。

3.各種設定を終えたら、右上のチェックマークを押すと保存されます。

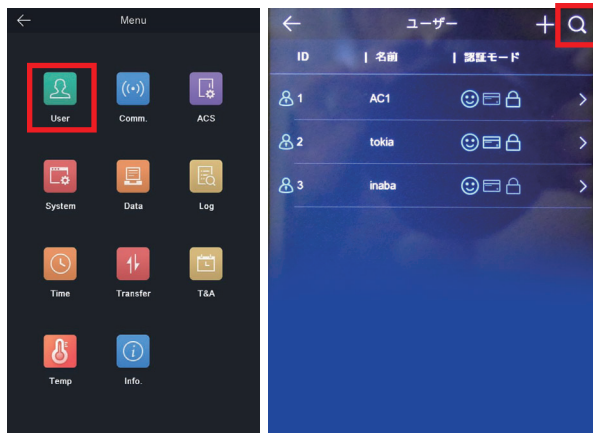


ユーザーの検索と編集

ユーザーを追加したら、ユーザーを検索や編集をする事ができます。

ユーザーの検索をする場合は、右上の虫メガネマークを押すことで、検索ページを開きます。カード番号やID、名前などで検索が可能です。

検索をする場合、画面に表示されている、IDや名前をタップすると編集が可能です。



通信設定



通信設定ページでは、ネットワーク・RS-485、Wiegandのパラメータを設定できます。

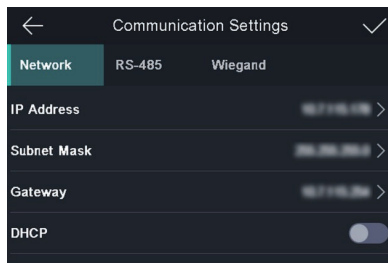
ネットワークパラメータの設定

ネットワークの各種パラメータを設定できます。

- 1.「通信」アイコンをタップし、「ネットワーク」タブに入ります。
- 2.IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをタップして、各パラメータを入力し、OKボタンを押すと入力が入力が上書きされます。

※カメラ本体のIPアドレスと、コンピュータのIPアドレスは同じセグメントにある必要がございます。

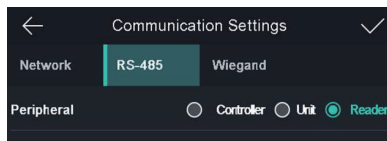
- 3.右上のチェックマークを押すと変更内容をすべて保存します。



RS-485 パラメータの設定

顔認識端末は、RS-485端子を介して外部アクセスコントローラーや、セキュリティドアユニット、カードリーダーなどと接続することができます。

- 1.「通信」アイコンをタップし、「RS-485」タブに入ります。
- 2.接続する外部デバイスタイプを選びます。
- 3.右上のチェックマークを押すと設定を保存し、機器が自動的に再起動されます。



※Contoroller(制御)は、アクセスコントローラー。 Unit(ユニット)は、セキュアドア制御ユニット。

Reader(リーダー)は、カードリーダーをさします。

※コントローラーを選択した場合、RS-485インターフェイスを介してデバイスをターミナルに接続する場合は、RS-485アドレスを2に設定します。コントローラーに接続する場合はドア No.に応じて RS-485アドレス設定をしてください。

Wiegandパラメータの設定

Wiegandの送信方向を設定します。

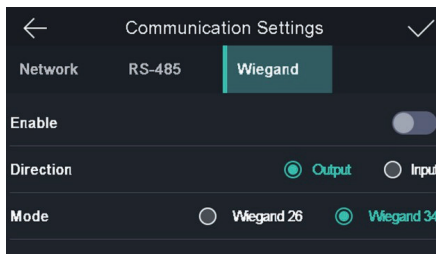
- 1.「通信」アイコンをタップし、「Wiegand」タブに入ります。
- 2.Wiegand機能を有効にします。
- 3.送信方向を選択します。

出力……顔認識端子に外部アクセスコントローラーを接続できます。

また、デバイスはWiegand26または34を介してカード番号を送信します。

入力……顔認識ターミナルは、Wiegandカードリーダーを接続できます。

- 4.右上のチェックマークを押して設定を保存します。



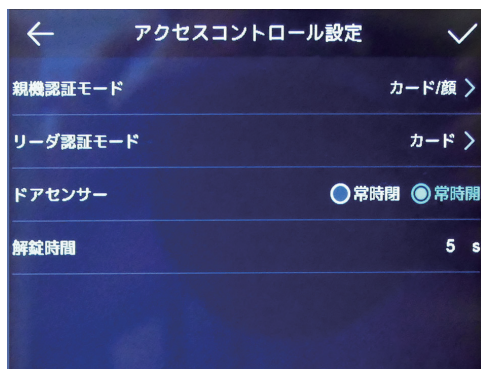
※外部デバイスを変更し、デバイスパラメータを保存すると、カメラ本体が自動的に再起動します。

アクセス制御パラメータの設定



端末認証の機能など、アクセス制御の権限を設定できます。
親機認証モード、リーダ認証モード、ドアセンサー、
解錠時間などを設定可能です。

ホームページでアクセスコントロール設定をタップして、アクセスコントロール設定ページに入ります。各種下記の設定を行った後、右上のチェックマークを押すと保存します。



パラメータ	説明
親機認証モード	顔認識端末の認証モードを選択します。認証モードのカスタマイズも可能です。 ※複数の認証モードを採用する場合、顔認証の前に他の認証をする必要があります。
リーダ認証モード	カードリーダーの認証モードを選択します。
ドアセンサー	実際のニーズに応じて、「常時閉」または「常時開」を選択できます。 デフォルトは「常時閉」です。
解錠時間	ドアのロック解除時間を設定します。設定時間内にドアを開けない場合、ドアが再ロックされます。時間範囲は1～255秒です。

システム設定

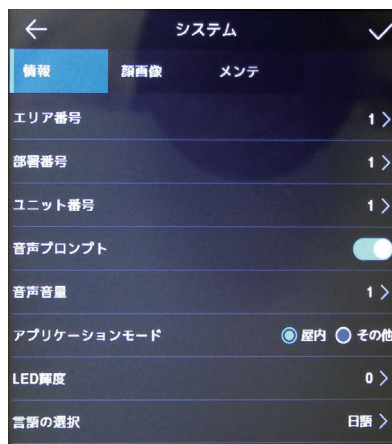


システム設定画面では、基本設定、顔認証の設定、ファームウェアのアップグレードを行う事が可能です。

情報(基本設定)

エリア番号や建物番号、ユニット番号、音声の設定や白色の明るさなどを設定できます。

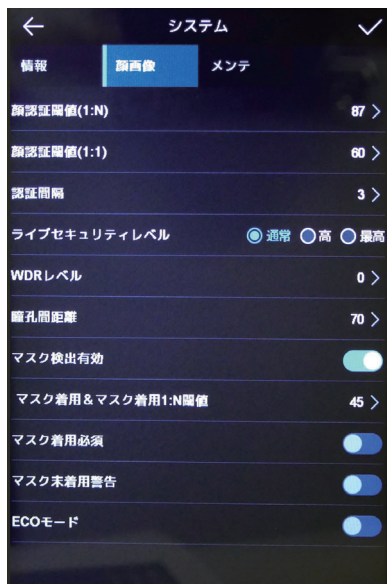
- 1.「システム」をタップし、「情報」タブに入ります。
- 2.各設定を入力し、OKボタンを押すと情報が更新されます。
- 3.右上のチェックマークを押すと変更内容をすべて保存します。



パラメータ	説明
エリア番号	デバイス搭載コミュニティNo.を設定します。 1～9の間で設定が可能です。
部署番号	機器の設置建物番号を設定します。 1～999の間で設定が可能です。
ユニット番号	デバイス搭載ユニット番号を設定します。 1～99の間で設定が可能です。
音声プロンプト	音声プロンプトを無効または有効にします。 タップするとオン・オフが切り替わります。
音声音量	音声の音量を調節します。値が大きいほど、音量は大きくなります。 0～10の間で設定が可能です。
アプリモード	実際の環境に応じて、屋内とその他のどちらかを選択できます。 屋内でも明るすぎる場所で反応が悪い場合は、その他を推奨します。
LED輝度	補助白色光の明るさを設定します。明るさの範囲は0～100です。 0はライトがオフ、1は最も暗い状態、100は最も明るい状態を表します。
言語の選択	言語設定ができます。 デフォルトは日本語です。

顔画像のパラメータを設定する

顔を認証する際の比率や認識感覚。セキュリティレベルや WDR、距離、マスク付き顔検出などを設定できます。メニュー画面からシステムへ入り、顔画像のタブを開きます。



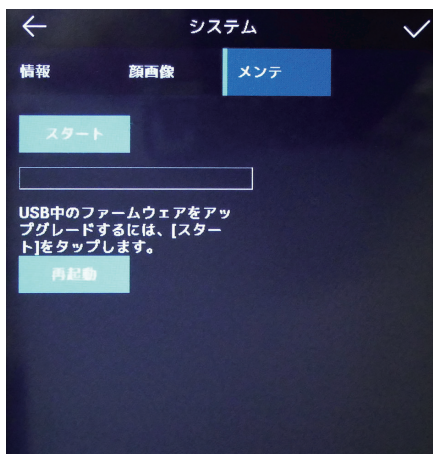
パラメータ	説明
顔認証閾値 (1:N)	しきい値を設定します。値が大きいほど誤許可率は小さくなり、誤拒否率は大きくなります。デフォルト値は84です。
顔認証閾値 (1:1)	一致モードの場合のしきい値を設定します。値が大きい程、誤許可率は小さくなり、偽拒否率が大きくなります。デフォルト値は75です。
認証間隔	1人の許可を認証する時に、2つの連続した顔を認識する時間間隔を設定します。値は1～10の数字を設定できます。
ライブセキュリティレベル	顔検出機能を有効にしたあと、顔認証を行う時に、一致するセキュリティレベルを設定できます。値は通常、高い、最高を設定できます。
WDRレベル	WDR機能を自動的に有効にできます。数字が大きいほど、簡単に WDRモードに入ります。0は WDRモードを無効にします。
瞳孔間距離	顔認識を開始する時の、2人の生徒の間の最小解像度。実際の解像度は、設定値よりも大きくする必要があります。デフォルト値は40です。

パラメータ	説明
マスク検出有効	この機能を有効にすると、認証ページの権限を認証する際に、マスクの装着の有無を装置が認識し、構成に応じてマスクの装着を促します。
マスク着用 & マスク着用 1:N 閾値	マスク1の顔の一致しきい値、N値が大きいほど、誤許可率は低くなり、誤拒否率は高くなります。最大値は100です。
マスク着用必須	この機能を有効にした場合、顔認証した際にマスクを着用する必要があります。マスクを着用しない場合、認証に失敗します。
マスク未着用警告	この機能を有効にした場合、認証された人物が顔にマスクを着用していない場合、マスクを着用するように促すポップアップ画面が表示されます。
ECOモード	ECOモードを有効にすると、デバイスはIRカメラを使用して、暗い環境で顔を認証します。また、ECOモードしきい値やECOモード (1:N, 1:1)を設定できます。
ECOモード閾値	ECOモードを有効にすると、ECOモードのしきい値を設定できます。値が大きいほど、カメラがECOモードに入りやすくなります。値は0～8で設定可能です。
ECOモード (1:N, 1:1)	ECOモード一致モードで認証する場合、一致しきい値を設定します。値が大きいほど、誤許可率は低くなり、誤拒否率が高くなります。デフォルト値は1:Nが84、1:1が75です。
マスク着用 1:N	ECOモードでマスク 1:Nを持つ顔の一致しきい値です。値が大きいほど、誤許可率は低くなり、誤拒否率は高くなります。デフォルト値は40で、最大値は100です。

メンテナンス

システム内の「メンテナンス」タブでは、ファームウェアのアップデートを行えます。アップグレード用のファームをUSBメモリに保存した状態で、USBメモリを差し込み、「スタート」ボタンを押します。

カメラ本体が USB内のファイルを自動的に読み込み、ファームウェアをアップグレードします。



※カメラ本体をアップグレードしている最中は電源を切らないでください。

※アップグレードするファイルはルートディレクトリ(一番上の階層)にある必要があります。

※アップグレードするファイルのファイル名は、「digicap.dev」である必要があります。

データ管理



データ管理ページでは、ユーザーデータの削除や工場出荷時の設定への復元、またはデフォルト設定への復元を行う事ができます。

- 1.メニュー画面で「データ」 ボタンを押し、データ管理ページを開きます。
- 2.削除または復元のボタンをタップし、表示されたポップアップで「はい」 を選択すると設定が完了します。



パラメータ	説明
ユーザーデータ削除	デバイス内のすべてのユーザー情報を削除します。 ID、カード、顔認証、などがすべて削除されます。
工場出荷時設定	システムを工場出荷時の設定に復元します。 設定後、デバイスが再起動します。
デフォルト設定	システムをデフォルト設定に復元します。通信設定とリモートユーザー設定が保存されます。 その他のパラメーターはデフォルトに復元され、設定完了後、カメラ本体は再起動します。

ログ検索



従業員 ID、カード番号、ユーザー名を入力することで、一定期間内に認証ログを検索することが出来ます。

- 1.メニュー画面で「ログ検索」ボタンを押し、ログ検索画面に入ります。
- 2.画面左上にある「カード▽」のボタンを押すと、検索のタイプを「カード、ID、名前」から選択することが出来ます。
- 3.検索期間やイベント(異常温度またはすべて)を選択し、右上の検索ボタンを押すと検索を行います。「カード▽」の右側、○○を入力してくださいと記載された部分にカードIDや名前を入力すると、より詳細に絞って検索が可能です。

日付時刻



日付時刻画面では、カメラ本体の時間と夏時間の設定ができます。

- 1.メニュー画面で「日付時刻」を押し、設定ページに入ります。
- 2.時間パラメーターを各種設定・編集し、右上のチェックボタンを押すと保存します。



データのエクスポートとインポート

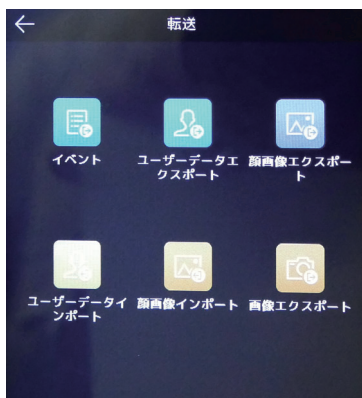
転送

転送画面では、USBフラッシュメモリにイベント・ユーザー情報、顔画像などを転送したり取り込む事ができます。



データのエクスポート・インポート

- 1.メニュー画面で、「転送」を押し、転送画面へ入ります。
- 2.転送画面で、行いたいエクスポート(出力) またはインポート(入力) を選択します。
- 3.ポップアップ画面が表示されますので、USBを挿し「はい」を押すと、実行されます。



【エクスポート時の注意】

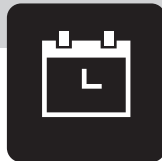
- ※サポートされる USBフラッシュメモリのフォーマットはDBです。
- ※システムは、1～32GBのストレージを持つ USBフラッシュメモリをサポートしています。
USBフラッシュメモリの空き容量が512MB以上になっていることを確認してください。
- ※エクスポートされたデータはDBファイルで、基本的に編集はできません。

【インポート時の注意】

- ※カメラ A、カメラ B……とすべての情報を転送する場合は、カメラ AからUSBフラッシュメモリに情報をエクスポートし、そのUSBフラッシュメモリをカメラ Bにインポートする必要があります。この場合、プロフィール写真をインポートする前にユーザーデータをインポートする必要があります。
- ※対応している OS型フラッシュドライブのフォーマットはFAT32です。
- ※取り込んだ画像はルートディレクトリに保存され、画像ファイルの名前は以下の規則に従う必要があります。
例: カード No.: Name_Department_Employee
ID: Gender.jpg
- ※従業員 IDは32文字未満にする必要があります。小文字・大文字・数字を組み合わせ可能です。
重複してはいけません。また、0で始めるのも不可です。
- ※顔写真は次の規則に従う必要があります。カメラに直接向いて、全面ビューで撮影してください。
顔写真撮影時に、ハットやヘッドカバーは着用しないでください。
フォーマットはJPEGまたはJPGである費用がございます。
解像度は640×480ピクセル以上で、画像容量は60～200KBである必要がございます。

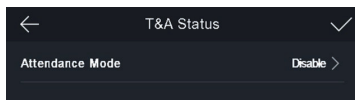
時刻と出勤状況の設定

時間と出勤状況を設定します。実際の状況に応じて、出退勤、休憩、残業の時間などを設定できます。



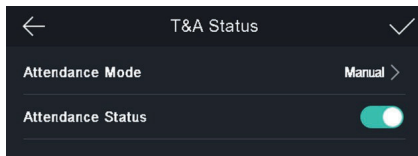
勤怠モードの禁止の無効化

- 1.メニュー画面で、「勤怠」を押し、勤怠ステータス画面へ入ります。
- 2.デフォルト値が「禁止」になっているので、設定したいモード(自動・手動・自動&手動)に設定し、チェックマークを押すと、無効化が解除されます。



カメラによる手動勤怠の設定

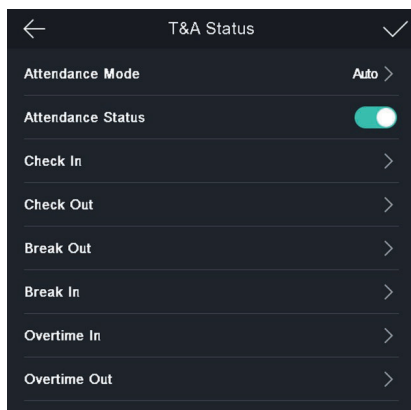
- 1.デフォルト値が「禁止」になっているので、手動モードに設定します。
 - 2.勤怠ステータス選択を有効にします。これで、勤怠の手動設定が可能です。
- ※少なくとも1人以上のユーザーを追加した状態でしか勤怠モードの設定はできません。
※勤怠確認画面で、ステータスを選択しない場合、認証は失敗します。



カメラによる自動勤怠の設定

勤怠モードを自動で設定し、勤怠状況と利用可能なスケジュールを設定できます。システムは、設定されたパラメータに従って、勤怠ステータスを自動的に変更します。各種設定を行う前に、少なくとも1人以上のユーザー設定を行ってください。

- 1.デフォルト値が「禁止」になっているので、自動モードに設定します。
- 2.勤怠時間や休憩・残業時間などの設定を選択すると、状態値とスケジュールが表示されますので、スケジュールを選択します。
- 3.月、火、水、木、金、土、日の曜日から設定したい曜日を選択し、右上のチェックマークを押します。
- 4.曜日の横に時間が表示されますので、開始時刻などを設定します。
- 5.確認ボタンを押します。他の曜日や勤怠設定も同様に設定を行っていきます。
- 6.最後に右上のチェックマークを押すとすべての内容を保存します。



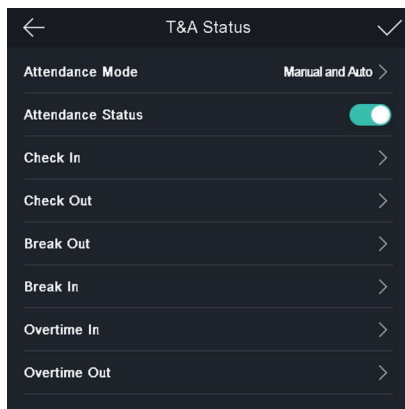
例

休憩外出時間を月曜11:00に設定し、休憩終了時間を月曜日12:00に設定すると、有効なユーザーの認証が月曜日11:00から12:00に休憩としてマークされます。

カメラによる手動および自動勤怠の設定

勤怠モードを手動および自動に設定すると、システムは、設定されたパラメータに従って、勤怠ステータスを自動的に変更します。同時に、手動で設定変更も可能です。各種設定を行う前に、少なくとも1人以上のユーザー設定を行ってください。

- 1.デフォルト値が「禁止」になっているので、手動&自動モードに設定します。
- 2.勤怠時間や休憩・残業時間などの設定を選択すると、状態値とスケジュールが表示されますので、スケジュールを選択します。
- 3.月、火、水、木、金、土、日の曜日から設定したい曜日を選択し、右上のチェックマークを押します。
- 4.曜日の横に時間が表示されますので、開始時刻などを設定します。
- 5.確認ボタンを押します。他の曜日や勤怠設定も同様に設定を行っていきます。
- 6.最後に右上のチェックマークを押すとすべての内容を保存します。

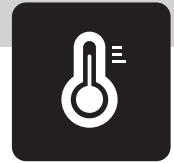


例

休憩外出時間を月曜11:00に設定し、休憩終了時間を月曜日12:00に設定すると、有効なユーザーの認証が月曜日11:00から12:00に休憩としてマークされます。

温度測定設定

温度測定設定



温度検出、過温度のアラーム値、温度異常時にドアが開かない、温度測定モードや領域などのパラメーターを設定できます。
メニュー画面で「温度設定」のボタンを押し、温度設定画面を開きます。
各種パラメータを編集・設定し、右上のチェックマークを押すと設定を保存します。



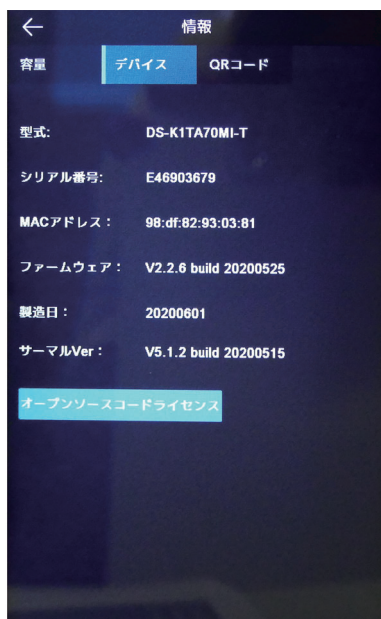
パラメータ	説明
体温検出有効	機能を有効にすると、カメラは顔認証などをするのと同時に温度を測定します。 機能を無効にすると、権限の認証のみします。
体温アラームのしきい値(最高)	実際の状況に応じて、しきい値を編集します。検出された温度が設定されたパラメーターより高い場合、アラームがトリガーされます。デフォルト値は37.3℃です。
体温アラームのしきい値(最低)	実際の状況に応じて、しきい値を編集します。検出された温度が設定されたパラメーターより低場合、アラームがトリガーされます。デフォルト値は33.0℃です。
温度補償	カメラ設置場所によっては平均体温が上がる場合、温度の調整が可能です。 デフォルト値は、0.0です。
体温異常検出時に解錠しない	この機能を有効にした場合、検出された温度が設定されたしきい値を上回ったり、下回ったりすると、ドアが開かなくなります。デフォルト値では、有効になっています。
体温測定のみ	機能を有効にすると、デバイスは認証されません。パーミッションですが、温度のみを取得します。 機能を無効にすると、カメラは権限認証と同時に温度を測定します。
体温測定エリア補正	温度測定エリアと補正パラメータを設定します。
体温測定エリア設定	この機能を有効にすると、距離や温度、放射率など、黒体のパラメータを設定できます。

システム情報を表示する



カメラ本体の容量や情報などを表示します。

- 1.メニュー画面で「情報」ボタンを押し、情報画面へ入ります。
 - 2.「容量」のタブを押すことで、追加したユーザー番号・顔画像・マスク付き顔画像・イベント番号の数を確認できます。
- 「デバイス」のタブを押すことで、カメラの型式やシリアル番号ファームウェアなどが確認かのです。



設置環境に関する注意事項

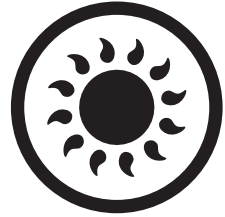
光源照準基準値



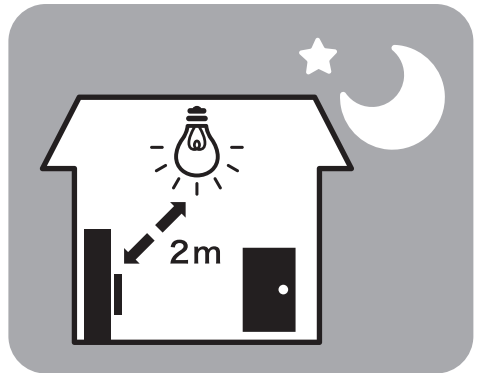
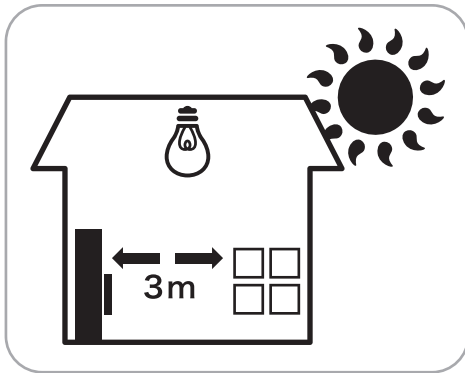
キャンドル:10Lux



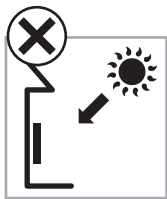
バルブ:100～850Lux



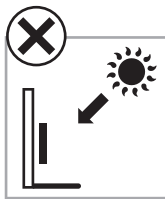
太陽光:1200Lux 以上



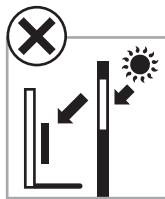
カメラ本体は光源から2メートル以上離し、窓またはドアから3メートル以上離して設置します。



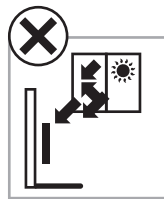
バックライト



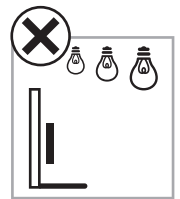
直射日光



窓からの
直接日光



窓からの
間接日光



明かりの近く

バックライト、直射日光、間接日光を避けてください。

製品仕様

RD-CI415T 顔認証型サーマルカメラ製品仕様		
温度測定	温度範囲	30℃～45度
	センサー	酸化バナジウム非冷却センサー
	解像度	120×160
	フレームレート	25fps
	精度	±0.5℃、黒体補正なし
	測定距離	0.5～1.5m
画面	サイズ	7インチ
	タイプ	タッチスクリーン
カメラ	ピクセル	2MP
	レンズ	デュアルレンズ
ネットワークや インターフェイス	有線ネットワーク	対応。10/100/1000 Mbps 自己適応型
	ネットワークインターフェイス	1
	RD-485	1
	ウィーガンド	1
	ロック出力	1
	終了ボタン	1
	ドア接点入力	1
	タンパー	1
容量	カード容量	6,000
	フェイス容量	6,000
	イベント容量	100,000
認証	カードタイプ	Mifare1枚
	カード読み取り距離、時間	0～5cm、1秒未満
	顔認証時間、距離	0.5～1.5m、1人当たり0.2秒未満
機能	顔のなりすまし防止	対応
	音声プロンプト	対応
その他	電源	DC12V、2A
	環境温度	0℃～50度、温度測定用10℃～35度
	環境湿度	10～90%（結露しない事）
	アプリケーション環境	屋内及び無風環境のみ使用可能
	付属品	壁面取付金具、取付用ネジ、電源アダプター

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番（顔認証付サーマルカメラ RD-CI415Tなど）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

< 定期点検・保守について >

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

製品についての
お問い合わせ

ネット業界初！サポート専用ダイヤル

TEL 092-707-2002

受付時間 (平日) 9:15 ~ 17:00 (土・日・祝) 休

